

降誕節第9週 主日礼拝

2017年2月19日

第一礼拝(8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(都合により休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『マルコの福音書』10章13-16節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌4「小羊をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌317「わが友主イエスは」	—	同
聖書朗読	『列王記 第二』5章1-19節(旧約638頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「幼子のように」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	高橋尚靖兄	
諸案内	(来信、集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介、報告および暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-8)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会・説教：近伸之牧師	音響：片山勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司会	会：片山勝三兄	音響・録音：山崎敬典兄	C S 担当：佐藤繁実兄
集会	会：笹川清子姉	映像・録画：近伸之牧師	掃除：片山麻美姉

説教メモ

- 1) 富、力、名声...すべてを得たナアマンを唯一苦しめるツアラアト。それは万人の心に潜む「罪」の象徴。
- 2) 人はいやしの前に高慢を砕かれる必要がある。神のみわざを自分の枠の中に閉じ込めてはならない。
- 3) 幼子の謙遜を得たナアマンは、幼子の体を得た。そして偶像から離れ真実の礼拝へと向かっていった。

先週の暗唱聖句

「私が仕えている万軍の主は生きておられます」 (『列王記 第一』18章15節)

今週の暗唱聖句

「すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい」 (『ヤコブの手紙』1章21節)

個人、団体からの来信

2017年2月19日

教団より定期便/桜ヶ丘キリスト教会、片山進悟先生より続報/
松原湖バイブルキャンプよりキャンプ案内など/ひろくを救う会事務局より(募金のお願い)/
田中直美AWANA宣教師を支える会ニュースレターNo.10

先週の集会出席者数

2/12(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性2			
	第一礼拝	男3 女4 女児1	2/13(月)	実用書道教室	男2 女6
	第二礼拝	男12 女20 計32	2/13(月)	月曜家庭集会	男2 女4
	(子ども)	男児1 女児4	2/15(水)	新潟山形療養会	男3 女5
	※夕拝はしばらく休会としています		2/17(金)	しゃべり場夕ピタ	男- 女
		2/17(金)	金曜祈禱会	男- 女6	

諸集会のご案内

※月に一回、実用書道教室を開催			
	月曜家庭集会	(休会)	
2/22(水)午後7:30	救 禱 会	教会堂	司 会：片山 勝三兄
2/24(金)午後1:30	しゃべり場夕ピタ	小山 千春姉宅	問合せ先：小山 千春姉
2/24(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

2/26(日) 降誕節第10週

第一礼拝	司会：近伸之牧師	演奏機：片山勝三兄	
午前8:00	説教	献金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担当：片山初子姉	
歓迎礼拝	司会：片山健司兄	音響・賛美：賛美チーム	感謝祈禱：山岸あけみ姉
午前10:30	集会：横堀信子姉 小山千春姉	録音：片山勝三兄 映像・録画：近伸之牧師	掃除：小林洋子姉

礼拝について	第1部：賛美チームによる歓迎の賛美 第2部：聖書『列王記 第二』18-19章 第3部：愛餐の交わり
午後の予定	
※諸般の事情により、夕拝はしばらくの間休会とします	

報 告

1. 本日の予定

主日礼拝の恵みを感謝します。礼拝後は昼食をいただき、午後1時より礼拝堂において第47回教会総会を行います。総会資料と新聖歌を備えてご出席ください。やむを得ず総会を欠席する方は、書記役員へ委任状をお渡しください。

2. 連合壮年会のため

昨日、新潟福音キリスト教会において連合壮年食事が行われました。当教会より近牧師と片山勝三兄が参加しました。各会のつながりや交わりがこれからも祝福されますように。

「ガンの進行速度は、その人間の性格と関連性があるという研究結果が発表されている」と、大阪淀川キリスト教病院の柏木哲夫医師は、朝日新聞社発行の『生と死を支えるホスピスケアの実践』という著書に記しています。ガンであることに失望せず、あくまでも回復への希望を強く持って闘病生活をする人は、ガンの進行が遅いということがあるのだそうです。ガンであることを自覚し、積極的にガンと対決する場合に、ごく少数ではあってもガンが自然に退縮する場合もあるそうです。「そのメカニズムはよくわかっていないが、その人の心の持ち方とガンの進み具合が関係することだけは確からしい」とも書いています。

ドイツ強制収容所の体験記録『夜と霧』の著書ヴィクトール・E・フランクルは、あの恐ろしい外的状況の中で困難と苦痛を耐えて乗り越えさせた大きな力は、「精神の自由と内的な豊かさへと逃れる道が開かれていたからである」と言っています。また、「収容所の囚人についての心理学的観察は、まず最初に精神的・人間的に崩壊していった人間のみが収容所の世界の影響に陥ってしまうことを示している。また、もはや内面的なよりどころを持たなくなった人間のみが崩壊せしめられたということを明らかにしている」とも述べています。

私たちは、突然のガンの宣告や、死を直前にする時、なんともろく弱い者でしょうか。

私は十数年前、糖尿病と診断を受けて、一ヶ月の入院をしました。健康な人ならば、空腹時の血糖値は80から100が普通ですが、当時の私の血糖値は450でした。糖尿病は死因になることはありませんが、その引き金になる確率はとても高いです。脳硬塞、心筋梗塞、心不全など。合併症を挙げればさらに多く考えられます。

やがて正常値に戻り退院する時、担当医から、「落ち込んだ患者を励ますのに良い方法はあるだろうか。彼らは、まず最初に精神的にまいってしまっている」と打ち明けられました。たかが糖尿病、されど糖尿病であって、甘く見てはならない病気です。ましてや、強制収容所の恐ろしい生活に耐え抜くためには、体が丈夫な者よりも、内面が充実した者が強さを発揮したというのです。ガンにおいても同様だそうです。

信仰を「困った時の神頼み」的な考えから一歩進めて、日々しっかりとつかんでいるものとする時、キリストの言われる「岩の上に自分の家を建てた賢い人」となることができます。

「雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです」

(マタイ7:25)

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。

(マタイ6章26節)



2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物を与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。

☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



2/25(土)「デビュー50周年」小坂 忠さん

シンガーソングライターの小坂忠さんは、昨年、デビュー50周年を迎えました。小坂さんは、1966年にロックバンド「ザ・フローラル」のメンバーとして音楽活動を開始し、70年代ポップスの基礎を築きました。そんな中で、クリスチャンとなり、1978年には日本初のゴスペルレーベル「ミクナムレコード」を設立し、キリスト教音楽に新風を吹き込んできました。昨年の11月に行われた、デビュー50周年を祝う「スペシャル コンサート」から歌をお届けするとともに、お話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGIN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

